

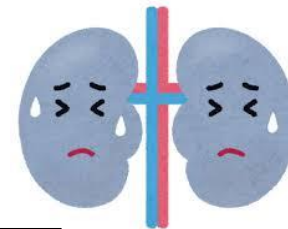
糖尿病腎症

糖尿病腎症とは 血糖値が高い状態が続くことで起こる腎臓の合併症です。

◇ 検査方法 ◇

* 尿中アルブミン *

糖尿病腎症に早期発見のために測定します。



	正常	早期腎症期	顕性腎症期
一般的な診断基準	30未満	30~299	300以上

* eGFR *

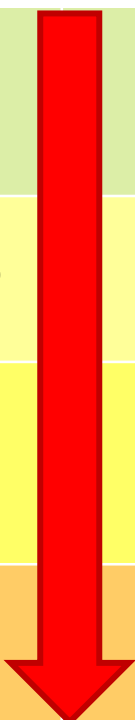
腎臓の機能を評価する値

一般的な診断基準	正常または高値	正常または軽度低下	軽度~中程度低下	中程度~高度低下	高度低下	末期腎不全
	90以上	89~60	59~45	44~30	29~15	15未満

※ eGFRとアルブミン尿から、第1~第5期の病期に分類されます。

病期の分類

病期	尿中アルブミン値 (mg/g・Cr) あるいは 尿蛋白 (g/g・Cr)	eGFR (ml/分/1.73m ²)
第1期 (腎症前期)	正常アルブミン尿 (30未満)	30以上
第2期 (早期腎症期)	微量アルブミン尿 (30~299)	30以上
第3期 (顕性腎症期)	顕性アルブミン尿 (300以上) あるいは 持続性タンパク尿 (0.5以上)	30以上
第4期 (腎不全期)	問わない	30未満



病期が進行するほど腎不全、心血管疾患のリスクが高くなります。

予防のポイント

腎症の病期により治療のポイントは異なります。

<病期>

<治療目的>

<治療内容>

第1期

腎症予防

血糖コントロールに重点をおき腎症を予防

第2期

第3期への進行予防

血糖・血圧コントロール

第3期

eGFRを30以上に維持

厳格な血糖・血圧・脂質コントロール
たんぱく質制限なども必要

第4期

透析導入を遅らせる

血糖・血圧コントロール、たんぱく質制限
透析導入も検討

目標値

- 血糖コントロール HbA1c7%未満
- 血圧コントロール 130/80mmHg未満
- 脂質・LDLコントロール 120mg/dL以下

治療を早く開始することが望ましいです！